

平成
23年度

一般会計予算71億7500万円
(対前年比4.9%の増)

賛成多数で可決

平成23年度予算は、予算特別委員会（議長を除く全議員）で全10会計について審査しました。

画の實質的初年度

127億9,549万円 (対前年比0.4%の増)

平成23年度各会計当初予算		会計名	予算額
		一般会計	71億7,500万円
特別会計		十王財産区	37万円
		下水道	5億2,635万円
		国民健康保険	16億3,215万円
		農業集落排水	1億4,817万円
		介護保険	13億8,305万円
		後期高齢者医療	1億3,288万円
	企業会計	水道	収益的支出
資本的支出			1億7,318万円
病院		収益的支出	11億4,400万円
		資本的支出	1億4,643万円
訪問看護		収益的支出	3,284万円
		資本的支出	150万円
総額			127億9,549万円

※万円未満は端数を整理しています。



討論

賛成

反対

反対討論 佐竹典明議員

TPPを締結し関税撤廃の場合、農業の多面的機能は3兆7千億円喪失、関連産業への影響は国内総生産で8兆4千億円程度減少と想定される。巨額の所得補償を行っても農業の壊滅的打撃は避けられず、TPP参加の撤回が必要で、地区公民館の運営は、現体制では地域の人の要望に届きえず、町民と連携した地域づくりは成り立ちません。またコミュニティセンター化を模索する場合、社会教育の軽

視に繋がらないか注視していきたい。

利用価値が全く無く、林業の振興にも地域の振興にも繋がらない大規模林道負担金を支払う理由があるのか。

タナカ種畜牧場の悪臭問題は地元住民からの請願が寄せられ、議会に悪臭問題特別委員会が設置されました。事業者が誠意ある姿勢を示し、解決するために当局に尽力を求めます。

使用料や利用料への消費税の転嫁はするべきではありません。

反対議員(2人)
本木勝利議員
佐竹典明議員

賛成討論 守谷丹吾議員

23年度予算は人づくりをベースに、子育て・教育、雇用・産業、地域を重点分野として施策の充実に努めていくとしています。

歳入では、自主財源の法人町民税と軽自動車税の増額を見込んでいますが、他はほとんど減額、依存財源である地方交付税や国県支出金、町債などを見込み、総額で71億7500万円になりました。

この貴重な財源を活用し、新たなソフト事業など多くの新規事業が計画されています。また今後の地域のあり方につ

いて、地域コミュニティセンター化を研究・検討するなど重点を置いています。

私たちの生活上、健康で安全に安心して過ごすことが一番ですが、その為にはライフラインが重要です。特に冬期間は、直ちに生命に関わってくるので、今後の対策等を十分に検討してほしいと思います。

自助、共助、互助、公助の精神が大事だと言われますが、付け加えて他助、他の人を助けるといふ精神が必要だと思います。今後こういう方が多くなるような町政を願うものです。

賛成議員(9人)

五十嵐政司議員
岡田 明議員
青木彰榮議員
加藤秀人議員
今野正明議員
遠藤幸一議員
守谷丹吾議員
菅原隆男議員
佐藤京一議員